

創刊のことば

財団法人山形県埋蔵文化財センターは、山形県内における埋蔵文化財の調査研究を行い、県民の文化財に関する理解を深めるとともに、文化財保護と地域開発の調和を図り、もって、県民の文化生活の向上と地域文化の振興に寄与することを目的として、平成5年4月に設立されました。

以来、東北横断自動車道、東北中央自動車道などの高速道路をはじめとする道路建設や、圃場整備事業、山形ニュータウン建設等に伴う多くの発掘調査を実施してまいりました。この間、国の重要文化財に指定された舟形町西ノ前遺跡の土偶（通称「縄文のビーナス」）をはじめとして、多数の貴重な埋蔵文化財が発見されました。

さらには、発掘調査のみならず、埋蔵文化財の活用及び保護思想の普及啓発の一環として、発掘調査説明会はもとより、出前授業や縄文フェスティバル等の開催などにも力を入れているところであります。こどもからおとなまで、埋蔵文化財を通じてふるさとの歴史に親しみ、そして誇りを感じ、山形県人としてのアイデンティティを確立するよすがとなればと心ひそかに思っている次第です。

こうした中、当センターは、今年度で設立10周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のあたたかいご支援とご協力のお陰であり、心からお礼申し上げる次第であります。そこで、これを期に、埋蔵文化財の調査研究のさらなる充実を図るとともに職員がこれまで蓄積した学術的な研究成果を発表する場として「研究紀要」を刊行することと致しました。

この研究紀要が、考古学研究の資料としてのみならず、埋蔵文化財に対する皆様方のご理解を一層深めることとなることを期待いたしまして創刊のことばといたします。

平成15年3月

財団法人山形県埋蔵文化財センター

理事長 木村 宰

題字

財団法人山形県埋蔵文化財センター 理事長 木村 宰